

第119回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部部会会議録	日時	令和4年4月19日(火) 9:35~9:55	場所	議場
出席者	西岡市長、小澤副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、藤本庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、梅原生涯学習部長、柿崎環境部長、北村議会事務局長、堤企画政策課長、石原健康課長、田嶋新型コロナウイルス感染症対策担当課長、廣田広報秘書課長、宮奈地域安全課長、宮腰地域安全係長			
付議事項	1 各部連絡事項			
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「1都3県共同メッセージ」の周知について(依頼) ・【手洗い場の設置等支援事業】区市町村支援事業概要について 			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月24日までリバウンド防止期間であり、各部とも引き続き警戒をお願いしたい。 ・本市における感染者の累計は、8,981人となっており、14人に一人が感染したことになり、現在666名の方が療養中である。 ・自宅療養者への支援において、市は東京都の情報に基づき、休日も電話掛けを行っている。 ・ワクチン接種について、現状3回目の接種及び5歳から11歳への接種に全力で取り組んでいる。3回目接種は進んではいるが、予約の空き状況も見られている。若者の接種促進に向け予約不要の接種日を設けており、今後は集団接種会場でファイザー製ワクチンも扱う見込。 ・新たなワクチンが承認され、ワクチン接種は非常にスキームが複雑化している。関係各所とも連携し、引き続き全庁を挙げて進めてほしい。 <p>1 各部連絡事項</p> <p>(健康課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1都3県共同メッセージ」について、資料を基に説明。 ・【手洗い場の設置等支援事業】区市町村支援事業概要について、資料を基に説明。 都から細かな情報が提示されたらまたお知らせする予定。 <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「手洗い場の設置等支援事業」は有効に活用できるよう検討してほしい。 <p>(新型コロナウイルス感染症対策担当課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月15日に医師会・薬剤師会との連絡会議を行い、以下の3つの点で合意いただいた。 				

①大規模接種会場におけるファイザー製ワクチンを用いたワクチン接種の実施について

②大規模接種会場終了後の保健センターでの集団接種について

③5月8日以降の医療機関での個別接種の継続について

3点目の実施医療機関については現在調整中。

(総務部長)

・リバウンド防止期間終了後の取扱いについて、国や都の情報を踏まえて関連通知を出す予定。ご承知おきください。

(議会事務局長)

・議会運営について、現状取扱いに変更はない。国や都の方針が出たら検討する。

(副市長)

・「手洗い場の設置等支援事業」について、コロナウイルス対策のみに捕らわれず、幅広い視点で検討していけたら活用の幅が広がるのでは。東京都では庁舎入口に置くような消毒機器を導入しており、スマホの消毒ができる。対象になるかはわからないが、検討してみてはどうか。

(教育長)

・現在、非常に細かい対応になってきているため、余裕をもって対応できるよう連携してほしい。

(以上)